勢和小学校だより

発行日：令和6年3月25日　　第20号

バトンを渡した　受け取った

～自分たちで考え行動した6年生～

3月19日に卒業式があり31人が卒業しました。6年生はこの1年「待ちの姿勢ではなく自分たちで考え行動する」ことを大切にして学校生活を送ってきました。トイレのスリッパが揃えられていないことに危機感を抱き、全校緊急集会を開いてそれぞれの思いを伝えたことがありました。卒業前には全校遊びを企画し「もう1回やりたい。」とリクエストが下級生から出されるほど盛り上がりました。卒業式後には、先生方に感謝の気持ちを伝えようと色紙をこっそり準備していました。

自分たちで考え行動することができていた6年生。学校のリーダーとして十分な役割を果たしていました。卒業おめでとう。

ところで、下級生も卒業する6年生に向けて、自分たちで考え行動していました。

特に5年生は、6年生を送る会や卒業式での呼びかけなどで在校生の牽引役となっていました。6年生を送る会の企画・準備・進行も感心させられましたが、式場づくりでは、与えられた仕事が終わると「他に手伝うことない？」と尋ねたり、卒業式の呼びかけでは、堂々たる態度で6年生に向けて感謝や思いでの言葉を伝えたりしていて、6年生から確実にリーダーというバトンを引き継ぎました。

他の学年の人たちも、背筋をぴんと伸ばして座り6年生をしっかり見つめている人がいたり、大きく息を吸って感謝の言葉を伝えようとしたりして、それぞれの役割を果たしながら6年生の卒業を祝っていました。頼もしい姿でした。

6年生の卒業は寂しいですが、在校生の頼もしさ、一生懸命さから、令和6年度の勢和小学校もワクワクがいっぱいの学校になることと思います。

図書室に通いたくなるために

卒業を前に6年生が、図書室に下級生が通いたくなるためにと、図書室に掲示する「はらぺこあおむし」のちぎり絵を作成しました。かわいい見事な絵です。この絵を見て6年生を思い出しながら読書を楽しんでほしいと思います。

今年度を振り返って

この1年を振り返って、子ども達の印象的な姿を紹介します。

1年　1年間ずっと、元気な挨拶ができました。遠くからでも大きな声で挨拶したり、授業を見に行った時でも、手を振って挨拶したり、明るい1年生でした。

2年　「自分たちでしっかり取り組もう。」とする意識が強く、お互いに助言したり励まし合ったりしていました。担任が出張などで不在の時も、自分たちでやりきりました。

3年　友達のことを心配し言葉をかけたり、友達の話をしっかり受け止めたり、友達にやさしいです。グループ学習でも、それぞれに意見を出し合い、きき合うことが出来ました。

4年　トイレのスリッパが揃えられているか見守ったり、テストを早く終えた人が洗剤を使って廊下や階段を磨いたり、気になることがあれば自分たちで話し合い、取り組むことを決め挑戦していました。

5年　下級生と一緒に遊んだり、クラスでは活発に意見を交流したり、明るく元気に仲間と過ごしていました。6年生を送る会や卒業式の呼びかけなど、任せられたことは責任を持ってやりきりました。

今年度、「子どもにとっても保護者にとっても、教職員にとっても安心・安全な学校つくり」を重点柱に挙げて教育活動を進めてきました。

その中でも子どもにとって安心・安全な学校つくりのために、子ども達が主体となる取り組みを進めてきました。具体的にはいじめの定義についてSEC委員会が「相手が嫌だと感じたらいじめ」と発信したり、休み時間の遊び方について体育委員会が提案したりしてきました。これらは子ども基本法で求められている、意見を表明する権利の保障、主体的に参画する機会の保障にもつながり、今後も大切にしていく方針です。

一方でプールのケガなど、安全な環境整備についてはご心配をおかけしたことには、改めてお詫び申し上げます。安全な環境整備は学校として基盤となるものです。子ども達目線の安全点検を取り入れながらも職員による点検や専門家による点検を行い環境整備を進めていきます。

来年度もよろしくお願いします。

大変お世話になりました

今年度末で転出する職員です。保護者の皆様には大変お世話になりました。

担　当	名　前
教 頭	尾上佳代子
1年2組担任	伊藤 陽子
3年担任	石田 智紀
4年担任	須賀 智愛
6年担任	廣 直起
専 科	森川 幸恵
専 科	中頭 正明
専 科	戸川 真一